



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / 草花 (トルコギキョウ、キンギョソウ、ケイトウなど)

百富 竜さん (31歳)

(営農地 / 飯塚市長尾)

農業で、花づくり・人づくり・地域づくり

《就農のきっかけ》

モノづくりとしての農業

20代前半まで東京で生活しており、農業・農村は全く身近に感じる存在ではなかったようです。百富さんが就農するきっかけとなったのは、「モノづくり」がしたいという強い思いから、「農業」を選択することを決意しました。その後、長年生活してきた東京を離れ、農業の基礎を学ぶために県農業大学校へ進学。進学当初は栽培したい品目は決まっていませんでしたが、授業で出会ったトルコギキョウという花に魅了されたようです。この花の栽培管理や仕立方法によって草姿を大きく変えることのできる点が百富さんのイメージしていた「モノづくり」と一致。卒業後は花き生産者を目指すことにしました。

《これまでの過程》

師との出会いがターニングポイント

県農業大学校卒業時に、地元でトルコギキョウを経営の柱としている末継花園を紹介してもらいました。県農業大学校で学んだ知識だけでなく、実際の農業(栽培技術・農業経営)を学ぶために卒業後、末継さんのもとで3年間働かせてもらいました。この3年間はとにかく大変でしたが、末継さんを農業の師と仰ぎ、ひたすら頑張ったそうです。また、「この3年間が無かったら今の自分はいない。栽培技術・経営はもちろん、農業「人」としてどうあるべきかまで学ばせて頂いた。自分が農業「人」として成長することが、師に対する恩返し。」と百富さん。3年間で「生産技術」と「農業への考え方」を体得しました。その後、末継さんの協力により近隣農家からハウスを借りることができ、いよいよ独立就農を開始。また、独立就農後も末継さんや地域の先輩から栽培技術や経営に関する助言を受けているそうです。さらに農業機械の貸し出しや資材の支援もして頂いたようで、どうしても自己資金で対応できない部分をフォローしてもらったそうです。H24年からは生産拠点を所有地に移し、ハウスでトルコギキョウ、露地でケイトウの栽培を実施。さらに現在は資金を借りてハウスを増設中です。ついに目標であった所有地における花づくりを始動!



プロフィール

- 家族構成 / 祖父、父、母、本人、妹
- 前職 / 末継花園 ■営農年数 / 約3年
- 耕作(経営)面積 / 30a(ハウス10a、露地20a) ■販路 / 花市場

《これからの展望》

花屋さん目線で!

百富さんにとって良いものとは、「自分が良いと思うものでなく、あくまで花屋さんが良いと思ってくれるもの。」だそうです。当然自分のこだわりは花屋さんや市場に発信していきたいが、「花屋さんが求める時期に求める品目・品質を供給し続けたい。」と意気込んでいます。地元のお客さんを大切にしたいため、地元出荷を中心に考えています。飯塚で栽培した花で飯塚地域や福岡の街・ショップ・家庭を飾りたいそうです。

また、長期的な目標としては、自分が3年間受け入れてもらったように、新規就農希望者を受け入れ、独立支援をしたいとのこと。「『独立したら独立させる』このような仕組みができれば後継者問題も解決するのではないのでしょうか。花の生産を通じて、少しでも生産者・市場・消費者・地域が活性化する一助となれば。」と語ってくれました。



Good 成功のためのポイント

東京を後にして現在までを振り返り、今思うことは、「覚悟」です。「何となく農業をしよう」ではなく、「何としても成功させる」という強い意志「覚悟」を固めることです。

もう一つは、農業「人」として師と仰げる生産者との出会いです。このような生産者と出会ったら、門戸を叩くべきです。紹介でも飛び込みでも構わないと思います。この間に栽培技術を修得し、同時に独立後の就農資金を貯えます。働かせてもらうことで技術・資金に加え、体力の向上、人間関係の広がりを得ることができます。